

# 図書館情報学とは

図書館で、書物などを提供するサービスを行う専門職を「司書」と言います。図書館情報学の前身である図書館学は、司書の専門教育として始まりました。

しかし20世紀終わり頃からの情報通信技術の開発によって、世界中でインターネットが使われるようになり、その影響は図書館のサービスや運営のあり方にも広く及びました。

いまや図書館は紙の書物を扱うだけでなく、オンラインメディアなどを含む、様々な資料・情報を扱うようになっています。そして学問分野の名称も、図書館情報学に変更され、図書館や情報にまつわる様々な研究が行われている他、図書館情報専門職を養成するための専門職教育として行われています。

## 担当教員



宮原 志津子  
教授



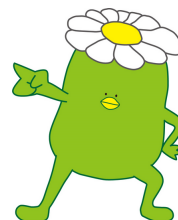
金井 喜一郎  
教授



金井ゼミ担当教員（ゼミ生作）

## 相模女子大学 学芸学部 日本語日本文学科

神奈川県相模原市南区文京2-1-1  
042-742-1411（代表）  
<https://sagami-nichibun.jp>



2025年度  
ニチブン  
学科の学びシリーズ



## 図書館情報学



ゼミ旅行にて

## 授業紹介

### ● 「図書館概論」

科目名にあるとおり、図書館に関するさまざまな内容を含んでいます。「図書館とは何なのか？」にはじまり、図書館資料、図書館における各種サービス、図書館で働く人たち（司書）、図書館の経営まで、幅広く学びます。

### ● 「生涯学習概論」

生涯学習とは、人々が生涯に行うさまざまな学習を意味します。具体的には、学校教育や家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、ボランティア活動、趣味などで行う学習が含まれます。本科目では、生涯学習の歴史、関連施設や専門的職員の役割、支援のあり方などについて学び、その理解を深めていきます。



### ● 「図書館サービス概論」

公共図書館における各種サービスについて、実際に行われている事例などを通じて具体的に学び、公共図書館サービスの現状や課題について理解を深めます。

授業は講義だけではなくグループワークを行い、分担して調べたり考えたりしたことをまとめて発表します。

### ● 「図書館情報資源概論」

図書館は、図書をはじめとした情報資源を前提として利用者にサービスを提供します。本科目では、図書館サービスの中核をなす情報資源について、その種類と特性、収集や蓄積の方法などについて、さらには、図書館のコレクション形成（蔵書形成）に関する理論や技術についても学びます。



### ● 「学校図書館サービス論」

学校図書館の目的と機能を学び、学校図書館が学校教育の現場でどのような役割を期待されているかを理解します。また読書活動や学習活動を推進し支援するための、「学校図書館のサービス」のあり方や方策を考えます。さらには、学校司書の役割の重要性についても学びます。

これらの科目は、司書課程科目の一部ですが、日本語日本文学科の専門科目として、卒業単位に含めることができます。

司書資格などについては、ニチブン学科の学びシリーズ「司書・司書教諭・学校司書」をご覧ください。

## 卒業論文の例



図書館情報学分野のゼミには、宮原ゼミと金井ゼミがあります。両ゼミは隔年開講となっているため、入学年度によって履修可能なゼミが異なります。2026年度入学生が履修可能なゼミは金井ゼミです。以下は各ゼミの最新の卒業論文題目です。

### 宮原ゼミ（2024年度）

- ・ライブラリーグッズの研究 ―読書通帳の効果について―
- ・図書館におけるマンガの役割の変化 ―2002年を起点として―
- ・滞在型図書館についての考察

### 金井ゼミ（2023年度）

- ・町村図書館のレファレンスサービスに必要な資料の検討
- ・学校図書館の選書業務における現状と課題：私立中高一貫校を中心に
- ・大学にあるラーニングコモンズの施設面での現状と課題：首都圏の4年制大学を対象に
- ・公共図書館の知的障害者サービス，アフターコロナ時代におけるそのあり方
- ・ファッション用語の変遷:女性ファッション誌をもとに
- ・翻訳絵本に表現された文化の違い

